

教科	理科	学年	第3学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標 (小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に 取り組む態度
しげんのかんさつ	4	身の回りの生物を探る中で、それらの様子に着目して、それらの様子を比較しながら、生物の特徴を調べる活動を通して、それらについての理解を図り、観察、実験などに関する技能を身に付けるとともに、主に差異点や共通点を基に、問題を見いだす力や生物を愛護する態度、主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようにする。	○生物の姿について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。 ○生物は、色、形、大きさなど、姿に違いがあることを理解している。	○生物の姿について、差異点や共通点を基に、問題を見いだし、表現するなどして問題解決している。 ○生物の姿について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。	○生物の姿についての事物・現象に進んで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 ○生物の姿について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。
植物の育ち方①たねまき	6	植物の成長の過程や体のつくりに着目して、複数の種類の植物を比較しながら植物の成長のきまりを調べる活動を通して、それらについての理解を図り、観察、実験などに関する技能を身に付けるとともに、主に差異点や共通点を基に、問題を見いだす力や生物を愛護する態度、主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようにする。	○子葉が出た後の植物の育ち方について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。 ○植物の体は根、茎及び葉からできていることを理解している。	○植物の育ち方について、差異点や共通点を基に、問題を見いだし、表現するなどして問題解決している。 ○植物の体のつくりについて、差異点や共通点を基に、問題を見いだし、表現するなどして問題解決している。	○身の回りの生物についての事物・現象に進んで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとしている。
こん虫の育ち方	10	昆虫の成長の過程や体のつくりに着目して、複数の種類の昆虫を比較しながら昆虫の成長のきまりや体のつくりを調べる活動を通して、それらについての理解を図り、観察、実験などに関する技能を身に付けるとともに、主に差異点や共通点を基に、問題を見いだす力や生物を愛護する態度、主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようにする。	○昆虫の成長について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。 ○昆虫の体のつくりについて、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。 ○昆虫の育ち方には一定の順序があることを	○昆虫の成長について、差異点や共通点を基に、問題を見いだし、表現するなどして問題解決している。 ○昆虫の体のつくりについて、差異点や共通点を基に、問題を見いだし、表現するなどして問題解決している。 ○昆虫の体のつくりについて、差異点や共通点を基に、問題を見いだし、表現するなどして問題解決している。	○身の回りの生物についての事物・事象に進んで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 ○昆虫の成長や体のつくりについて学んだことを学習や生活に生かそうとしている。
植物の育ち方②葉がふえたころ	2	植物の成長の過程や体のつくりに着目して、複数の種類の植物を比較しながら植物の成長のきまりを調べる活動を通して、それらについての理解を図り、観察、実験などに関する技能を身に付けるとともに、主に差異点や共通点を基に、問題を見いだす力や生物を愛護する態度、主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようにする。	○植物の育ち方について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。		

教科	理科	学年	第3学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標 (小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
動物のすみか	4	身の回りの動物を探す中で、これらの様子や周辺環境に着目して、それらと比較しながら、生物と環境との関わりを調べる活動を通して、それらについての理解を図り、観察、実験などに関する技能を身に付けるとともに、主に差異点や共通点を基に、問題を見いだす力や生物を愛護する態度、主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようにする。	○生物と環境との関わりについて、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。 ○生物は、その周辺の環境と関わって生きていることを理解している。	○生物と環境との関わりについて、差異点や共通点を基に、問題を見だし、表現するなどして問題解決している。 ○生物と環境との関わりについて、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。	○生物と環境との関わりについての事物・現象に進んで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 ○生物と環境との関わりについて学んだことを学習や生活に生かそうとしている。
植物の育ち方④花がさいた後	4	植物の成長の過程や体のつくりに着目して、複数の種類の植物を比較しながら植物の成長のきまりを調べる活動を通して、それらについての理解を図り、観察、実験などに関する技能を身に付けるとともに、主に差異点や共通点を基に、問題を見いだす力や生物を愛護する態度、主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようにする。	○花が咲いた後の植物の育ち方について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。 ○植物の育ち方には一定の順序があることを理解している。	○植物の育ち方について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。	○植物の育ち方や体のつくりについて学んだことを学習や生活に生かそうとしている。
地面のようすと太陽	9	太陽と地面の様子との関係について、日なたと日陰の地面の様子に着目して、比較しながら調べる活動を通して、それらについての理解を図り、観察、実験などに関する技能を身に付けるとともに、主に差異点や共通点を基に、問題を見いだす力や主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようにする。	○日陰は太陽の光を遮るとき、日陰の位置は太陽の位置の変化によって変わることを理解している。 ○太陽と日陰や影の位置の変化について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。 ○太陽と地面の様子との関係について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。 ○地面は太陽によって暖められ、日なたと日陰では地面の暖かさや湿り気に	○太陽と日陰や影の位置の変化について、差異点や共通点を基に、問題を見だし、表現するなどして問題解決している。 ○太陽と日陰や影の位置の変化について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。 ○太陽と地面の様子との関係について、差異点や共通点を基に、問題を見だし、表現するなどして問題解決している。 ○太陽と地面の様子との関係について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。	○太陽と地面の様子についての事物・現象に進んで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 ○太陽と地面の様子について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。

教科	理科	学年	第3学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標 (小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に
太陽の光	7	光を当てたときの明るさや暖かさに着目して、光の強さを変えたときの現象の違いを比較しながら、光の性質について調べる活動を通して、それらについての理解を図り、観察、実験などに関する技能を身に付けるとともに、主に差異点や共通点を基に、問題を見いだす力や主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようにする。	○日光是直進し、集めたり反射させたりできることを理解している。 ○物に日光を当てると、物の明るさや暖かさが変わることを理解している。 ○光の性質について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。	○光の性質について、差異点や共通点を基に、問題を見だし、表現するなどして問題解決している。 ○光の性質について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。 ○光の性質について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。	○光の性質についての事物・現象に進んで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 ○光の性質について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。
電気の通り道	9	乾電池と豆電球などのつなぎ方と乾電池につないだ物の様子に着目して、電気を通すときと通さないときのつなぎ方を比較しながら、電気の回路について調べる活動を通して、それらについての理解を図り、観察、実験などに関する技能を身に付けるとともに、主に差異点や共通点を基に、問題を見いだす力や主体的に問題解決しようとする態度を養うこと	○電気を通すつなぎ方と通さないつなぎ方があることを理解している。 ○電気を通すつなぎ方について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。	○電気の回路について、差異点や共通点を基に、問題を見だし、表現するなどして問題解決している。 ○電気の回路について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。	○電気を通すつなぎ方についての事物・現象に進んで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 ○電気の回路について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。
じしゃくのふしぎ	8	磁石を身の回りの物に近付けたときの様子に着目して、それらを比較しながら、磁石の性質について調べる活動を通して、それらについての理解を図り、観察、実験などに関する技能を身に付けるとともに、主に差異点や共通点を基に、問題を見いだす力や主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようにする。	○磁石に引き付けられる物と引き付けられない物があることを理解している。 ○磁石の性質について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。 ○磁石の異極は引き合い、同極は退け合うことを理解している。 ○磁石に近付けると磁石になる物があることを理解している。	○磁石の性質について、差異点や共通点を基に、問題を見だし、表現するなどして問題解決している。 ○磁石の性質について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。	○磁石の性質についての事物・現象に進んで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 ○磁石の性質について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。 ○磁石の性質について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。
ものの重さ	8	物の形や体積に着目して、重さを比較しながら、物の性質を調べる活動を通して、それらについての理解を図り、観察、実験などに関する技能を身に付けるとともに、主に差異点や共通点を基に、問題を見いだす力や主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようにする。	○物の性質について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。 ○物は、体積が同じでも重さは違うことがあることを理解している。	○物の性質について、差異点や共通点を基に、問題を見だし、表現するなどして問題解決している。 ○物の性質について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。	○物の性質についての事物・現象に進んで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 ○物の性質について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。
おもちゃショーを開こう!	4	ゴムと風力、音のふしぎ、電気の通り道、じしゃくのふしぎについて、学んだことを、ものづくりに生かすことができるようにする。			○物の性質、ゴムと風力の働き、光と音の性質、磁石の性質、電気の回路についての事物・現象に進んで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとしている。

教科	理科	学年	第4学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標 (小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に 取り組む態度
春の生き物	9	春の生命の息吹の中で、動物の活動や植物の成長に興味・関心をもち、1年間を通じた観察計画を立てて継続観察を行い記録することから、生物を愛護する態度を育てるとともに、動物の活動や植物の成長と、気温や水温などの環境とのかかわりをとらえるようにする。	○温度計を安全に正しく使い、気温や水温を調べている。 ○植物の成長のようすを調べ、結果をわかりやすく記録している。 ○春の生き物のようすを理解し、観察記録を整理し、わかりやすくまとめている。	○春の生き物のようすについて、予想や仮説を発想し、表現している。 ○春の生き物のようすと季節の変化を関係づけて考察し、表現している。	○春の生き物に進んでかかわり、他者とかかわりながら、季節による違いを調べようとしている。 ○植物の成長に進んでかかわり、他者とかかわりながら、植物を育てていこうとしている。 ○春の生き物について、学んだことを学習や生活に生かそうとしている。
天気と1日の気温	6	晴れや曇り、雨の日に、1日の気温の変化を調べ、天気によって1日の気温の変化のしかたに違いがあることをとらえるようにする。	○温度計を正しく扱いながら、天気や1日の気温の変化のしかたを調べ、測定した気温などの結果をわかりやすくまとめている。 ○天気によって、1日の気温の変化のしかたに違いがあることを理解している。	○1日の気温の変化と天気の様子について予想や仮説を発想し、表現している。	○天気の様子や1日の気温の変化に進んでかかわり、他者とかかわりながら、天気や気温を調べようとしている。 ○天気と1日の気温の変化について、学んだことを学習や生活に生かそうとしている。
地面を流れる水のゆ	9	雨水の流れ方や浸みこみ方と地面の傾きや土の粒の大きさとの関係について追究する中で、生活経験等をもとに、根拠のある予想や仮説を発想し、表現できるようにする。また、水は、高い場所から低い場所へと流れて集まること、水の浸みこみ方は、土の粒の大きさによって違いがあることを調べられるようにする。	○水は高い場所から低い場所へと流れて集まることを理解している。 ○粒の大きさと水の浸みこみ方の違いを調べる実験を、条件制御しながら行い、結果をわかりやすく記録している。 ○水の浸みこみ方は、土の粒の大きさによって違いがあるこ	○低い場所に流れた水のゆくえについて、土の様子と関係づけながら、根拠のある予想や仮説を発想し、表現している。	○地面を流れる水のゆくえに進んでかかわり、他者とかかわりながら、そのようすを調べようとしている。 ○水が地面を流れたり、浸みこんだりするしくみと自然災害や土地利用との関係について調べようとしている。
電気のはたらき	8	乾電池の数や回路を流れる電流の大きさや向きと、モーターの回り方や豆電球のようすに着目し、それらに関係づけて電気のはたらきについて根拠のある予想や仮説を発想することができるようになるとともに、乾電池を使ったおもちゃづくりを通して、電気のはたらきに興味・関心をもちて追究する態度を育てる。	○簡易検流計を正しく使い、回路を流れる電流の向きと、モーターの回る向きを関係づけて調べている。 ○乾電池の数やつなぎ方を変えると、電流の大きさや向きが変わり、モーターの回り方が変わることを理解している。	○回路を流れる電流の向きとモーターの回る向きについて予想や仮説を発想し、表現している。 ○乾電池2個のつなぎ方やモーターの回り方について、実験の結果から考察し、表現している。	○乾電池とモーターを使ったおもちゃを動かすことに進んでかかわり、他者とかかわりながら、乾電池のはたらきを調べようとしている。 ○電気のはたらきについて学んだことを学習や生活に生かそうとしている。

教科	理科	学年	第4学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標 (小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に 取り組む態度
夏の生き物	4	夏の動物の活動や植物の成長に興味・関心をもって継続して観察し、記録することから、生物を愛護する態度を育てるとともに、動物の活動や植物の成長と季節とのかかわりをとらえるようにする。	○植物の成長のようすを調べ、結果をわかりやすく記録している。 ○夏になると、動物が活発に活動し、植物がよく成長することを理解している		○夏の生き物に進んでかかわり、他者とかかわりながら、春の生き物のようすとの違いを調べようとしている。 ○夏になると、動物が活発に活動し、植物がよく成長することを理解している。
夏の夜空	2	星を観察して、空には明るさや色が違う星があるという考えをもつことができるようにするとともに、星に対して興味・関心を持ち、夜空に輝く無数の星に対する豊かな心情を育てる。	○方位磁針や星座早見などを正しく使って、星や星座を観察し、星によって明るさや色に違いがあることを理解している。		○夏の夜空に輝く星に進んでかかわり、他者とかかわりながら、観察しようとしている。
月や星の動き	9	月や星を観察して、その位置の変化を時間と関係づけて調べ、月や星の特徴や動きについての考えをもつことができるようにするとともに、天体に対する豊かな心情を育てる。	○方位磁針を正しく使って月の位置を調べ、月は日によって形が変わって見え、1日のうちでも時刻によって位置が変わることを理解している。 ○星の集まりは、1日のうちでも時刻によって、並び方は変わらないが、位置が変わることを理解している。	○月も太陽と同じように、時刻とともに動く予想や仮説を発想し、考えを表現している。 ○星の位置の変化を観察の結果から考察し、表現している。	○月の動き方について進んでかかわり、他者とかかわりながら、月の動きを調べようとしている。 ○月や星の動きについて、学んだことを学習や生活に生かそうとしている。
とじこめた空気や水	7	空気を閉じ込めた袋や空気鉄砲を使った活動や、注射器に閉じ込めた空気を押し縮める実験を通して、閉じ込めた空気を押し込んだ時の現象について、主体的に調べることができるようにするとともに、水についても同様の実験を行い、それぞれの結果を比較して、空気と水の性質の違いをとらえるようにする。	○空気を閉じ込めた器具を安全に正しく使って、閉じ込めた空気の性質を調べている。 ○閉じ込めた空気を圧すと、体積は小さくなるが、押し返す力は大きくなることを理解している。 ○閉じ込めた水を押し込んだときについて、結果をわかりやすく記録している。 ○閉じ込めた水は、空気と違って押し縮められないことを理解	○閉じ込めた空気を押し込んだときについて、予想や仮説を発想し、表現している。 ○閉じ込めた水を押し縮めることができるかについて、実験の結果から考察し、表現している。	○閉じ込めた空気を使った活動に進んでかかわり、他者とかかわりながら、閉じ込めた空気の性質を調べようとしている。 ○閉じ込めた空気や水の性質について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。

教科	理科	学年	第4学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標 (小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に 取り組む態度
ヒトの体のつくりと運動	7	運動しているときのヒトやほかの動物の体の動きについて、骨や筋肉のはたらきと関係づけながら調べていくことで問題を見だし、興味・関心をもって追究する活動を通して、ヒトの体のつくりと運動についての考えをもつことができるようにする。	<p>○自分の体を触ったり、骨の模型や映像などの資料を活用したりして、体を曲げられるところを調べている。</p> <p>○ヒトの体には骨と筋肉があり、ヒトが体を動かすことができるのは、骨や筋肉のはたらきによることを理解している。</p> <p>○ほかの動物の体のつくりや、体を動かすしくみについて、資料</p>	<p>○運動しているときのヒトの体の動きから、腕の中の骨がどのようにになっているか予想や仮説を発想し、表現している。</p> <p>○ほかの動物の体のつくりや、体を動かすしくみについて、ヒトと関係づけて考察し、自分の考えを表現している。</p>	<p>○ヒトの体のつくりに進んでかかわり、他者とかかわりながら、運動とどのように関係があるかを調べようとしている。</p> <p>○ヒトやほかの動物の体のつくりと運動について、学んだことを学習や生活に生かそうとしている。</p>
秋の生き物	4	秋の動物の活動や植物の成長に興味・関心をもって継続して観察し、記録することから、生物を愛護する態度を育てるとともに、動物の活動や植物の成長と季節とのかかわりをとらえるようにする。	<p>○植物の成長のようすを調べ、結果をわかりやすく記録している。</p> <p>○秋になると、動物の動きは鈍くなり、植物は成長が止まったり、実が大きくなったりすることを理解している。</p>		<p>○秋の生き物に進んでかかわり、他者とかかわりながら、季節による違いを調べようとしている。</p> <p>○秋の生き物について、学んだことを学習や生活に生かそうとしている。</p>
ものの温度と体積	9	空気・水・金属は、温度が高くなると膨張し、低くなると収縮するといった、温度の変化と空気・水・金属の体積の変化との関係を見だし、中でも空気の体積変化は最も大きいことをとらえるようにする。また、既習の内容や生活経験をもとに、根拠ある予想や仮説を発想する力や主体的に問題解決しようとする態度を育てる。	<p>○空気はあたためたり冷やしたりすると、その体積が変わることを理解している。</p> <p>○水はあたためたり冷やしたりすると、その体積が変わることを理解している。</p> <p>○加熱器具などを安全に正しく使って、金属をあたためたり冷やしたりしたときの体積の変化を調べている。</p> <p>○金属は、あたためたり冷やしたりすると、その体積が変わるが、その変化は空気や水より小さいことを理解している。</p>	<p>○閉じ込めた空気をあたためるときについて、予想や仮説を発想し、表現している。</p> <p>○空気の温度と体積について、実験の結果から考察し、表現している。</p> <p>○温度による水の体積変化について、実験の結果から考察し、表現している。</p> <p>○温度による金属の体積変化について、実験の結果から考察し、表現している。</p>	<p>○容器に閉じ込めた空気をあたためる活動に進んでかかわり、他者とかかわりながら、空気の性質を調べようとしている。</p> <p>○温度によるものの体積変化について、学んだことを学習や生活に生かそうとしている。</p>
冬の夜空	2	星の観察を繰り返すことを通して、星の特徴や動きについての考えが深まるようにする。また、星の動きと時間とを関係づけて調べる能力が育つようにする。	<p>○冬の夜空にも、明るさや色の違う星があり、時刻によって、並び方は変わらないが、位置が変わることを理解している。</p>		<p>○冬の夜空に輝く星に進んでかかわり、他者とかかわりながら、観察しようとしている。</p>

教科	理科	学年	第4学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標 (小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
冬の生き物	3	冬の動物の活動や植物の成長に興味・関心をもって継続して観察し、記録することから、生物を愛護する態度を育てるとともに、動物の活動や植物の成長と季節とのかかわりをとらえるようにする。	○植物のようすを調べ、結果をわかりやすく記録している。 ○冬になると、動物は見られなくなり、植物はたねを残して枯れたり、枝に芽をつけて冬を越したりすることを理解している。		○冬の生き物に進んでかかわり、他者とかかわりながら、季節による違いを調べようとしている。 ○冬の生き物について、学んだことを学習や生活に生かそうとしている。
ものあたたまり方	10	金属は熱せられた部分から順にあたたまりますが、水や空気は熱せられた部分が移動して全体があたたまることをとらえるようにする。また、ものには熱に対する性質の違いがあるという考えをもつとともに、それらの性質を確かめる活動を通して、既習の内容や生活体験をもとに根拠ある予想や仮説を発想する力や主体的に問題解決しようとする態度を育てる。	○加熱器具などを安全に正しく使って、金属のあたたまり方を調べている。 ○金属は熱せられた部分から順にあたたまっていくことを理解している。 ○水のあたたまり方を調べ、結果をわかりやすく記録している。 ○水はあたためられた部分が移動して全体があたまることを理解している。 ○空気は、あたためられた部分が移動して、全体があたまることを理解している。	○金属の一部を熱すると、どのようにあたたまっていくのかについて予想や仮説を発想し、表現している。 ○水のあたたまり方について、実験の結果から考察し、表現している。 ○空気のアたたまり方について、実験の結果から考察し、表現している。	○フライパンを熱したときのようすに進んでかかわり、他者とかかわりながら、金属のあたたまり方を調べようとしている。 ○ものあたたまり方について、学んだことを学習や生活に生かそうとしている。
水のすがた	8	水は温度によって状態が変化し、氷になると体積が増えるという考えをもつとともに、水蒸気や氷に姿を変える水の状態変化と温度とを関係づける能力や、興味・関心をもって追究する態度を育てる。	○加熱器具などを安全に正しく使って、熱したときの水のようすを調べ、わかりやすく記録している。 ○水を冷やし続けたときの温度やようすをわかりやすく記録している。 ○水が温度によって水蒸気や氷に変わることや、水が氷になると体積が増えることを理解している。	○加熱器具などを安全に正しく使って、熱したときの水のようすを調べ、わかりやすく記録している。 ○水を冷やしたときの変化について実験の結果から考察し、表現している。	○水が氷になったり、水を熱すると湯気や泡が出たりする現象に進んでかかわり、他者とかかわりながら、温度による水の状態変化を調べようとしている。 ○温度による水の状態変化について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。
水のゆくえ	6	水は熱しなくても蒸発して空気中に出ていったり、目に見えない水蒸気が冷やされて再び水の姿で現れたりするという考えをもつことができるようにするとともに、自然界の水の姿と関係づける能力や、興味・関心をもって追究する態度を育てる。	○水の自然蒸発のようすを調べ、結果をわかりやすく記録している。 ○水は、水面や地面などから蒸発し、水蒸気になって空気中に含まれていくことを理解している。 ○空気中の水蒸気は、結露して再び水になって現れることがあることを理解している。	○水は熱しなくても、蒸発するかについて予想や仮説を発想し、表現している。 ○空気中から水を取り出せるかについて、実験の結果から考察し、表現している。	○校庭やアスファルトの水たまりが、なくなっていくようすに進んでかかわり、他者とかかわりながら、水のゆくえを調べようとしている。 ○水のゆくえについて学んだことを学習や生活に生かそうとしている。

教科	理科	学年	第4学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標 (小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に 取り組む態度
生き物の1年間	2	<p>生き物を観察し、季節ごとの動物の活動や植物の成長を、興味・関心をもって調べた1年間の記録をもとに、季節による動物の活動や植物の成長の違いをとらえるようにする。また、観察や栽培をした経験や季節ごとの追究する活動を通して、動物の活動や植物の成長と季節とを関係づける能力を育てるとともに、生物を愛護する態度を育て、生命の多様性と共通性、生命の連続性についての考えをもつことができるようにする。</p>	<p>○1年間の観察記録を生き物毎に整理し、季節と生き物のようすの関係について、わかりやすくまとめている。</p> <p>○動物の活動や植物の成長は、あたたかい季節、寒い季節などによって違いがあることを理解している。</p>		<p>○季節と生き物のようすに進んでかかわり、他者とかかわりながら、特徴を調べようとしている。</p> <p>○動物の活動や植物の成長は、あたたかい季節、寒い季節などによって違いがあることを理解している。</p>

教科	理科	学年	第5学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標 (小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に 取り組む態度
天気と情報①天気 の変化	9	雲の量や動きに着目して、それらと天気の変化とを関係付けて、天気の変化の仕方を調べる活動を通して、それらについての理解を図り、観察などに関する技能を身に付けるとともに、主に予想や仮説を基に、解決の方法を発想する力や主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようにする。	○天気の変化の仕方について、観察、実験などの目的に応じて、器具や機器などを選択して、正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を適切に記録している。 ○天気の変化は、映像などの気象情報を用いて予想できることを理解している。	○天気の変化の仕方について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。 ○天気の変化の仕方について見いだした問題について、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現するなどして問題解決している。	○天気の変化の仕方についての事物・現象に進んで関わり、粘り強く、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 ○天気の変化の仕方について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。
生命のつながり① 植物の発芽と成長	11	発芽と成長の様子に着目して、それらに関わる条件を制御しながら、植物の育ち方を調べることを通して、植物の発芽、成長とその条件についての理解を図り、観察、実験などに関する技能を身に付けるとともに、主に予想や仮説を基に、解決の方法を発想する力や生命を尊重する態度、主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようにする。	○植物の発芽には、水、空気及び温度が関係していることを理解している。 ○植物の発芽について、観察、実験などの目的に応じて、器具や機器などを選択して、正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を適切に記録している。 ○植物は、種子の中の養分を基にして発芽することを理解している。 ○植物の成長には、日光や肥料などが関係していることを理解している。	○植物の発芽について、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現するなどして問題解決している。 ○植物の発芽について、実験結果をもとに条件と関係づけて考察し、表現している。 ○植物の成長について、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現するなどして問題解決している。	○植物の発芽についての事物・現象に進んで関わり、粘り強く、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 ○植物の発芽と成長について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。
生命のつながり②メ ダカのたんじょう	8	魚を育てる中で、卵の様子に着目して、時間の経過と関係付けて、動物の発生や成長を調べる活動を通して、それらについての理解を図り、観察、実験などに関する技能を身に付けるとともに、主に予想や仮説を基に、解決の方法を発想する力や生命を尊重する態度、主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようにする。	○魚には雌雄があることを理解している。 ○魚の発生や成長について、観察、実験などの目的に応じて、器具や機器などを選択して、正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を適切に記録している。 ○生まれた卵は日がつたつにつれて中の様子が変化してかえることを理解している。	○魚の発生や成長について見いだした問題について、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現するなどして問題解決している。 ○魚の発生や成長について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。	○魚の発生や成長についての事物・現象に進んで関わり、粘り強く、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 ○魚の発生や成長について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。

教科	理科	学年	第5学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標 (小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に
天気と情報②台風と防災	4	雲の量や動きに着目して、それらと天気の変化とを関係付けて、天気の変化の仕方を調べる活動を通して、それらについての理解を図り、観察などに関する技能を身につけるとともに、主に予想や仮説を基に、解決の方法を発想する力や主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようにする。	○台風が近づいたときの天気の変化の仕方について、観察、実験などの目的に応じて、器具や機器などを選択して、正しく扱いながら、それらの過程や得られた結果を適切に記録している。 ○天気の変化は映像などの気象情報を用いて予想できることを理解している。 ○台風の進路は天気の変化の規則性が当てはまらないこと、また、台風がもたらす降雨は短時間に多量になることを理解している。	○台風が近づいたときの天気の変化の仕方について見いだした問題について、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現するなどして問題解決している。 ○台風が近づいたときの天気の変化の仕方について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。	○台風についての事物・現象に進んで関わり、粘り強く、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 ○台風について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。
生命のつながり③植物の実や種子のでき方	7	結実の様子に着目して、それに関わる条件を制御しながら、植物の育ち方を調べることを通して、植物の結実とその条件についての理解を図り、観察、実験などに関する技能を身につけるとともに、主に予想や仮説を基に、解決の方法を発想する力や生命を尊重する態度、主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようにする。	○植物の結実について、観察、実験などの目的に応じて、器具や機器などを選択して、正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を適切に記録している。 ○花にはおしべやめしべなどがあり、花粉がめしべの先に付くとめしべのもとに実になり、実の中に種子ができることを理解している。	○植物の結実について、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現するなどして問題解決している。 ○植物の結実について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。	○植物の結実についての事物・現象に進んで関わり、粘り強く、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 ○植物の結実について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。
流れる水のはたらきと土地の変化	12	流れる水の速さや量に着目して、それらの条件を制御しながら、流れる水の働きと土地の変化を調べる活動を通して、それらについての理解を図り、観察、実験などに関する技能を身につけるとともに、主に予想や仮説を基に、解決の方法を発想する力や主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようにする。	○流れる水には、土地を侵食したり、石や土などを運搬したり堆積させたりする働きがあることを理解している。 ○川の上流と下流によって、川原の石の大きさや形に違いがあることを理解している。 ○雨の降り方によって、流れる水の量や速さは変わり、増水により土地の様子が大きく変化する場面があることを理解している。 ○流れる水の働きと土地の変化について、観察、実験などの目的に応じて、器具や機器などを選択して、正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を適切に記録している。	○流れる水の働きと土地の変化について見いだした問題について、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現するなどして問題解決している。 ○流れる水の働きと土地の変化について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。 ○植物の結実について予想や仮説をもち、解決の方法を発想し、表現している。 ○植物の結実について、実験結果をもとに受粉と結実を関係づけて考察し、自分の考えを表現している。	○流れる水の働きと土地の変化についての事物・現象に進んで関わり、粘り強く、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 ○流れる水の働きと土地の変化について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。
もののとけ方	12	物が水に溶ける量や様子に着目して、水の温度や量などの条件を制御しながら、物の溶け方の規則性を調べる活動を通して、それらについての理解を図り、観察、実験などに関する技能を身につけるとともに、主に予想や仮説を基に、解決の方法を発想する力や主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようにする。	○物が水に溶けても、水と物を合わせた重さは変わらないことを理解している。 ○物が水に溶ける量には、限度があることを理解している。 ○物が水に溶ける量は水の温度や量、溶ける物によって違うことを理解している。 ○物の溶け方について、観察、実験などの目的に応じて、器具や機器などを選択して、正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を適切に記録している。 ○溶けている物を取り出すことができることを理解している。	○物の溶け方について、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現するなどして問題解決している。 ○物の溶け方について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。	○物の溶け方についての事物・現象に進んで関わり、粘り強く、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 ○物の溶け方について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。

教科	理科	学年	第5学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標 (小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に 取り組む態度
ふりこの性質	10	振り子が1往復する時間に着目して、おもりの重さや振り子の長さなどの条件を制御しながら、振り子の運動の規則性を調べる活動を通して、それらについての理解を図り、観察、実験などに関する技能を身に付けるとともに、主に予想や仮説を基に、解決の方法を発想する力や主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようにする。	○振り子の運動の規則性について、観察、実験などの目的に応じて、器具や機器などを選択して、正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を適切に記録している。 ○振り子が1往復する時間は、おもりの重さなどによっては変わらないが、振り子の長さによって変わること理解している。	○振り子の運動の規則性について、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現するなどして問題解決している。 ○振り子の運動の規則性について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。	○振り子の運動の規則性についての事象・現象に進んで関わり、粘り強く、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 ○振り子の運動の規則性について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。

教科	理科	学年	第5学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標 (小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
もののとけ方	12	ものが水に溶ける量やよ すに着目して、水の量や 温度などの条件を制御し ながら、ものの溶け方の規 則性を調べる活動を通し て、それらについての理解 をはかり、実験に関する技 能を身につけるとともに、 主に予想や仮説をもとに、 解決の方法を発想する力 や主体的に問題解決しよ うとする態度を育成するこ とができるようになる。	○ものが水に溶けても、水 ともののを合わせた重さは 変わらないことを理解して いる。 ○ものの溶け方の違いを 調べる工夫をし、電子てん びんやメスシリンダーを目 的に応じて用意し、安全に 正しく操作して実験をして いる。 ○ものが水に溶ける量に は、限度があることを理解 している。 ○水の量を増やすと、水に 溶けるものの量も増えるこ とを理解している。 ○ものが水に溶ける量は、 水の温度、溶けるものによ って違いがあることを理 解している。 ○溶けているものを取り出 す方法を工夫し、ろ過器具 などを目的に応じた用意し、 安全に正しく使って実 験をしている。 ○水溶液の性質を利用して、 水に溶けているものを 取り出すことができるこ とを理解している。	○ものの溶け方や 溶けたもののゆくえ について、発想した 予想や仮説をもと に、条件に着目して 解決の方法を発想 し、表現している。 ○ものが水に溶ける 量について、発想し た予想や仮説をもと に、条件に着目して 解決の方法を発想 し、表現している。 ○ものが溶ける量を 水の温度と関係づ けて考察し、表現し ている。	○ものを水に溶かす ことに進んでかわり、 粘り強く、他者と かわりながら、もの の溶け方の規則性を 調べようとしている。 ○ものが水に溶ける ときの規則性につい て学んだことを学習 や生活に生かそうとし ている。
電磁石の性質	12	電流の大きさや向き、コ イルの巻数などに着目して、 これらの条件を制御しなが ら、電流がつくる磁力を調 べる活動を通して、それら についての理解を図り、観 察、実験などに関する技 能を身につけるとともに、 主に予想や仮説を基に、 解決の方法を発想する力 や主体的に問題解決しよ うとする態度を養うことが できるようにする。	○電流の流れているコ イルは、鉄心を磁化す る働きがあることを理解 している。 ○電流の向きが変わ ると、電磁石の極も変わる ことを理解している。 ○電磁石がつくる磁力 について、観察、実験な どの目的に応じた、器 具や機器などを選択し て、正しく扱いながら調 べ、それらの過程や得 られた結果を適切に記 録している。 ○電磁石の強さは、電 流の大きさや導線の巻	○電磁石がつくる磁力 について、予想や仮説 を基に、解決の方法を 発想し、表現するなど して問題解決してい る。 ○電磁石がつくる磁力 について、観察、実験 などを行い、得られた 結果を基に考察し、表 現するなどして問題解 決している。	○電流がつくる磁力 についての事物・現 象に進んで関わり、 粘り強く、他者と関 わりながら問題解決し ようとしている。 ○電磁石がつくる磁 力について学んだこ とを学習や生活に生 かそうとしている。
生命のつながり④ 人のたんじょう	8	人の発生についての資料 を活用する中で、胎児の 様子に着目して、時間の 経過と関係付けて、動物 の発生や成長を調べる活 動を通して、それらにつ いての理解を図り、観 察、実験などに関する技 能を身につけるとともに、 主に予想や仮説を基に、 解決の方法を発想する力 や生命を尊重する態度、 主体的に問題解決しよ うとする態度を養うこ とができるよう	○人の発生や成長につ いて、観察、実験などの 目的に応じた、器具や 機器などを選択して、正 しく扱いながら調べ、そ れらの過程や得られた 結果を適切に記録して いる。 ○人は、母体内で成長 して生まれることを理 解している。	○人の発生や成長につ いて、予想や仮説を 基に、解決の方法を 発想し、表現するなど して問題解決してい る。 ○人の発生や成長につ いて、観察、実験な どを行い、得られた結 果を基に考察し、表 現するなどして問題解 決している。	○人の発生や成長につ いての事物・現象 に進んで関わり、粘 り強く、他者と関 わりながら問題解決し ようとしている。 ○人の発生や成長に ついて学んだことを学 習や生活に生かそう としている。

教科	理科	学年	第6学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標 (小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に 取り組む態度
ものが燃えるしくみ	10	ものの燃焼のしくみについて興味・関心をもって多面的に調べる活動を通して、ものの燃焼と空気の変化とを関係づけて、ものの質的变化について推論する能力を育てるとともに、追究していく過程において、燃焼したときの空気の変化について、より妥当な考えをつくりだし、表現できるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> ○線香やろうそくなどを目的に応じて用意し、安全に正しく使って、空気の動きを調べ、適切に記録している。 ○気体検知管や石灰水などを安全に正しく使って、ものが燃える前後の空気の変化を調べ、結果を適切に記録している。 ○ろうそくや木などの植物体が燃えると、空気中の酸素が使われ二酸化炭素ができることを理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ものの燃え方と空気の動きについて、問題を見だし、予想や仮説をもとに解決の方法を発想し、表現している。 ○実験結果から、気体の種類によるものを燃やすはたらきの違いについて、より妥当な考えをつくりだし、表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ものの燃え方に進んでかかわり、粘り強く、他者とかかわりながら、燃焼のしくみを調べようとしている。 ○ものの燃焼のしくみについて学んだことを学習や生活に生かそうとしている。
ヒトや動物の体	10	ヒトやほかの動物の体のつくりとはたらきについて興味・関心をもち、消化、呼吸、循環および排出のはたらきについての学習を通して、児童が自らの体について理解を深めていくとともに、体の各器官が相互にかかわり合って生命を維持しているという考えをもつことができるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> ○口から取り入れられた食べ物は、消化管を通る間に消化、吸収され、吸収されなかったものは排出されることを理解している。 ○体内には生命を維持するためのさまざまな臓器があることを理解している。 ○気体検知管や石灰水を正しく扱い、吸気と呼気の違いを調べている。 ○ヒトや動物は、呼吸によって酸素を取り入れ、二酸化炭素などを出すことを理解している。 ○資料などを目的に応じて選択し、血液の流れや腎臓のつくりとはたらきを調べ、結果を適切に記録している。 ○血液は心臓のはたらきで体内を巡り、養分、酸素および二酸化炭素などを運んでいることを理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○だ液によるでんぷんの変化について考察する中でより妥当な考えをつくり出し、表現している。 ○血液の循環を、消化・吸収や呼吸のはたらきと関係づけて追及し、予想や仮説を発想して、自分の考えを表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ヒトや動物の体のつくりとはたらきに進んでかかわり、粘り強く、他者とかかわりながら調べようとしている。 ○ヒトや動物の体のつくりとはたらきについて学んだことを学習や生活に生かそうとしている。
植物のつくりとはたらき	8	植物の体のつくりとはたらきについて興味・関心をもち、根から取り入れられた水のゆくえや植物と空気の関係、植物が養分をつくるはたらきについての学習を通して、植物に対する理解を深めていくとともに、植物が重要なはたらきをしているという考えをもつことができるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> ○植物には、根から取り入れた水の通り道があることを調べ、結果を適切に記録している。 ○根や茎、葉には水の通り道があり、根から吸い上げられた水はおもに葉から蒸散により排出されることを理解している。 ○気体検知管などを正しく使って、植物と空気の間を調べている。 ○日光と葉のでんぷんについて、実験の目的に応じて材料を用意し、正しく扱いながら調べている。 ○植物の葉に日光が当たると、でんぷんができることを理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○葉まで運ばれた水がその後どうなるかについて予想や仮説を発想し、表現している。 ○日光と葉のでんぷんについて、実験の結果から考察する中でより妥当な考えをつくり出し、表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○植物の体のつくりとはたらきに進んでかかわり、粘り強く、他者とかかわりながら調べようとしている。 ○植物の体のつくりとはたらきについて学んだことを学習や生活に生かそうとしている。

教科	理科	学年	第6学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標 (小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に 取り組む態度
生物どうしのつながり	7	生物どうし、および空気や水を通した生物のつながりについて興味・関心を持ち、養分や空気や水が自然の中を行き来していることについて理解を深めていくとともに、生物と環境についての考えをもつことができるようにする。	○ヒトは、植物や動物を食べ、動物の食べ物をたどっていくと植物に行きつくことを理解している。 ○顕微鏡を正しく使って、水中の小さな生物を観察し、結果を適切に記録している。 ○メダカなどの魚は、水中の小さな生物を食べ物にして生きていることを理解している。 ○生物は、空気や水を通してかかわり合っていることを理解している。	○自然の中の生物も、食物連鎖でつながっていることについて、予想や仮説を発想し、表現している。 ○動物と植物が空気を通してかかわり合っていることについて、調べたことから考察する中でより妥当な考えをつくり出す。	○生物どうしのつながりに進んでかかわり、粘り強く、他者とかかわりながら調べようとしている。 ○生物どうしのつながりについて学んだことを学習や生活に生かそうとしている。
水よう液の性質	14	いろいろな水溶液を、溶けているものを調べたり、リトマス紙などを使って3つの性質にまとめたり、金属と反応するようすを調べたりする活動を通して、水溶液の性質やはたらきについての考えをもつことができるようにする。	○水溶液や器具を目的に応じて用意し、安全に正しく使って、いろいろな水溶液の違いを調べている。 ○水溶液には、気体が溶けているものがあることを理解している。 ○リトマス紙などを正しく使って水溶液の性質を調べ、結果を適切に記録している。 ○水溶液は、酸性・中性・アルカリ性の3つに仲間に分けられることを理解している。 ○水溶液や器具を安全に正しく使って、金属が変化するようすを調べている。 ○見えなくなった金属がどうなったのかを調べ、結果を適切に記録している。 ○蒸発皿に残ったものの性質を調べ、結果を適切に記録している。 ○水溶液には、金属を変化させるものがあることを理解している。	○5種類の水溶液の区別のしかたについて予想や仮説をもち、自分の考えを表現している。 ○金属に薄い塩酸を加えたときのような変化について予想や仮説をもち、解決の方法を発想している。 ○蒸発皿に残ったものの性質を調べた結果から考察する中でより妥当な考えをつくり出し、表現している。	○身の回りの水溶液に進んでかかわり、粘り強く、他者とかかわりながら、水溶液の性質を調べようとしている。 ○水溶液の性質やはたらきについて学んだことを学習や生活に生かそうとしている。
月と太陽	10	月の位置や形の変化に興味・関心を持ち、月の輝いている側に太陽があることをとらえるとともに、月の形の見え方を太陽との位置関係から推論して追究し、月の形の見え方が規則正しく変化する理由について、より妥当な考えをつくりだし、主体的に問題解決しようとする態度を育成する。	○月の形の見え方を調べるモデルの意味を理解して、ボールなどを目的に応じて用意し、正しく扱いながら調べ、適切に記録している。 ○月の形の見え方は、地球から見た太陽と月の位置関係によって変わることを理解している。	○月の形や月と太陽の位置関係について、問題を見いだし、予想や仮説をもとに解決方法を発想し、表現している。 ○モデル実験や観察をもとに、月の形の見え方が変化する理由について、より妥当な考えをつくりだし、表現している。	○月の形の見え方に進んでかかわり、粘り強く、他者とかかわりながら調べようとしている。 ○月の形の見え方の変化や月の表面のようすなどの学んだことを学習や生活に生かそうとしている。

教科	理科	学年	第6学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標 (小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に 取り組む態度
大地のつくりと変化	16	地層などを観察し、地層のつくりやでき方について多面的に調べる活動を通じて、大地は長い年月と大きな空間的な広がりの中でつくり、変化してきたという考えをもつことができるようにする。また、火山活動や地震による大地の変化と災害とを関係づけて調べ、災害への備えについて考えるとともに、自然の力の大きさを感じ取るができるようにする。	<p>○地層のようすを調べる器具などを目的に応じて用意し、正しく扱いながら観察し、適切に記録している。</p> <p>○地層の構成物と、地層に重なりや広がりがあることを理解している。</p> <p>○堆積のモデルを運搬・堆積の場としてとらえ、地層のでき方を調べている。</p> <p>○双眼実体顕微鏡などの器具を正しく操作しながら、火山灰を観察し、その特徴を適切に記録している。</p> <p>○地層は、れき、砂、泥や火山灰などからできており、層となって広がっていることを理解し、長い年月をかけて変化していることをとらえている。</p> <p>○資料などを目的に応じて選択し、火山活動や地震による大地の変化について、多面的に調べている。</p> <p>○大地は、火山の噴火や地震によって変化することを理解している。</p>	<p>○地層のようすや構成物について、予想や仮説をもとに解決の方法を発想し、表現している。</p> <p>○地層のでき方について問題を見だし、解決の方法を発想し、表現している。</p> <p>○地層が固まってできた岩石や化石を調べ、長い時間の経過と合わせて考察している。</p> <p>○火山活動や地震に対する具体的な備えを知り、自然からの恩恵についても理解し、自然との向き合い方について、自分なりの考えをもっている。</p>	<p>○大地のつくりと変化に進んでかかわり、粘り強く、他者とかかわりながら調べようとしている。</p> <p>○大地のつくりと変化について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。</p>
てこのはたらき	11	てこの手ごたえや、てこがつり合うときを調べる実験を通して、重いものを楽に持ち上げる方法や、てこがつり合うときの規則性についての考えをもつことができるようにする。また、小さな力で重いものを動かせるという視点で、身の回りを観察し、さまざまな道具でこの規則性が利用されていることをとらえるようにする。	<p>○力点・作用点の位置を変え、てこを使うときの手ごたえを調べ、結果を適切に記録している。</p> <p>○実験用てこを使って、左右のおもりの重さや位置を変えながら、てこの規則性を計画的に調べている。(行動観察・記録分析)</p> <p>○てこがつり合うときの規則性や、支点から等距離でつり合うときはおもりの重さも等しいことを理解している。</p> <p>○てこを利用した道具を目的に応じて用意し、安全に正しく使いながら、支点・力点・作用点について調べている。</p> <p>○身の回りには、てこの規則性を利用した道具があることを理解している。</p>	<p>○てこを使って重いものを小さな力で持ち上げる方法について、予想や仮説をもとに解決の方法を発想し、表現している。</p> <p>○てこの手ごたえと支点・力点・作用点の位置関係について考察する中で、より妥当な考えをつくりだし、表現している。</p> <p>○実験結果をもとに、てこの規則性について、より妥当な考えをつくりだし、表現している。</p> <p>○てこの規則性と道具のしくみやはたらきの関係を多面的に調</p>	<p>○てこのしくみやはたらきに進んでかかわり、粘り強く、他者とかかわりながら調べようとしている。</p> <p>○てこの規則性について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。</p>

教科	理科	学年	第6学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標 (小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に
発電と電気の利用	14	電気はつくり出したり蓄えたりすることができることを知り、その電気をさまざまな器具に流すことによって、電気は、光、音、熱などに変えることができるという考えをもつことができるようにする。また、身の回りには電気をつくり出したり蓄えたり、光、音、熱などに変えるさまざまな道具があることを知るとともに、より妥当な考えをつくりだす力を育成する。	<p>○手回し発電機などを正しく扱いながら、発電のようすを調べ、適切に記録している。</p> <p>○光電池や鏡などを目的に応じて用意し、正しく扱いながら実験を行い、適切に記録している。</p> <p>○コンデンサーを正しく扱いながら、そのはたらきを調べ、結果を適切に記録している。</p> <p>○身の回りには、電気の性質やはたらきを利用した道具があることを理解している。</p>	<p>○発電について問題を見いだし、乾電池と比較した予想や仮説をもとに解決の方法を発想し、表現している。</p> <p>○光電池のはたらきについて考察する中で、より妥当な考えをつくりだし、表現している。</p> <p>○実験結果をもとに、豆電球と発光ダイオードの違いについて、より妥当な考えをつくりだし、表現している。</p> <p>○電気をむだなく使うための工夫について問題を見いだし、予想した条件や動作の組み合わせをもとに、解決の方法を発想し、プログラミングしている。</p>	<p>○発電と電気の利用に進んでかかわり、粘り強く、他者とかかわりながら調べようとしている。</p> <p>○発電と電気の利用について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。</p>
自然とともに生きる	5	ヒトやほかの生物と環境がどのようにかかわり合っているかを調べたり、身近な環境問題を調べたりして、生物と環境とのかかわりについての考えをもつことができるようにするとともに、自然を大切にしようとする態度を育てる。	<p>○ヒトは、環境とかかわり、工夫して生活していることを理解している。</p> <p>○資料などを目的に応じて選択し、ヒトの活動と環境が互いに与えている影響について調べている。</p>	<p>○身近な環境とのかかわりや与えている影響などの調べたことをもとに、より妥当な考えをつくりだし、自分たちの生活を見直そうとしている。</p>	<p>○身の回りの環境に進んでかかわり、粘り強く、他者とかかわりながら調べようとしている。</p>